

ことぶき薬局 TEL055(977)6024 FAX055(977)0890 たまち薬局 TEL054(251)1678 FAX054(251)1685

ひまわり薬局 TEL053(463)4312 FAX053(460)4612 みかん薬局 TEL053(584)2230 FAX053(584)2240

今回は、最近問題となった感染症や変更になった

ワクチンについてお知らせします。

【麻疹(はしか)・風疹混合ワクチン(MR ワクチン)】

麻疹とは麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症で、発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状と発疹が現れます。肺炎、脳炎といった重い合併症を発症することもあります。小児の場合は通常、あまり重くない病気ですが大人がかかると重症化することがあります。感染経路は、空気感染、飛沫感染が主で、免疫を持っていない人が感染すると90%以上が発症します。

従来小児期に感染することが多かったのですが、最近は10代、20代以上での感染が多く見られ、大学を含めて学校閉鎖が相次ぐなど、社会的にも問題となっています。

2008年4月1日から5年間の期限付きで、麻疹と風疹の定期予防接種対象が、現在の第1期(1歳児)、第2期(小学校入学前年度の1年間にあたる児)に加え、第3期(中学1年生相当年齢)、第4期(高校3年生相当年齢)に拡大されました。

成人の方は麻疹ワクチンのみの接種も可能ですが、ワクチンの流通は不安定なため、事前に各医療機関にお問い合わせ下さい。

【BCG ワクチン】

BCGは、結核を予防するためのワクチンです。BCGは以前、ツベルクリン反応で陰性であったときのみを受けられる予防接種でしたが、平成17年4月に制度改正があり、ツベルクリン検査が不要になりました。

【海外へ行かれる方へ】

海外に行かれる際には、海外渡航中に感染症から身を守るためにワクチン接種をお考えください。お勧めのワクチンは、渡航先、渡航目的、渡航期間や、過去の予防接種歴、年齢などで変わってきます。

安全に十分に接種するためには、できるだけ出発の数ヶ月以上前(3~6ヶ月位前)からの余裕のある予防接種計画のご検討をお願いします。詳しくは各医療機関にお問い合わせ下さい。旅行者が渡航先で感染症にかからないための各種情報につきましては、「海外渡航者のための感染症情報(FORTH ホームページ <http://www.forth.go.jp/>)」をご覧ください。

主な予防接種一覧

ワクチン	接種回数	間隔	標準的な接種年齢	助成	備考
インフルエンザ	13歳未満は2回 13歳以上は1回 毎年接種が必要	1～4週間 (3～4週間隔 が適切)	指定なし(全年齢、毎年、流行シーズン前)	自費	高齢者の方には助成があります(都道府県によって異なります)
破傷風トキソイド	初回は2回 追加は1回	3～8週 外傷時の感染の恐れがあり、初回免疫後6ヶ月以上後		自費	
おたふくかぜ	1回		12ヶ月以上	自費	
水痘	1回		1歳から	自費	
B型肝炎	3回	2回目：4週間 3回目：20～24週間	HIV感染者、医療従事者 母子感染予防(0歳から)	自費	
A型肝炎	2～3回	2回目：2～4週 3回目：24週	海外旅行者(16歳以上)、2回接種1ヶ月後の陽転は100%、3回接種で3年以上免疫が持続	自費	
肺炎球菌	1回		2歳以上のHIV感染者、脾摘患者など	自費	
狂犬病	2回	4週間隔	6～12ヶ月追加接種と暴露後6回の免疫接種あり	自費	ワクチンの供給不良
BCG	0～5回		生後3ヶ月～6ヶ月	あり	
ポリオ	2回	6週以上	3ヶ月～1歳6ヶ月	あり	集団接種
3種混合・2種混合 破傷風、百日咳、トキソイド	1期初回;3回 1期追加;1回 2期(DT)1回	3～8週 6ヶ月以上	3ヶ月～1歳6ヶ月 1期初回終了後1年～1年6ヶ月 小学6年(12歳)	あり	
MR ワクチン / 麻疹、風疹	1期 2期		1歳 小学校入学前年度の1年間	あり	麻疹ワクチンのみ の接種も可能 (自費)

※詳しい事は、各医療機関にお問い合わせ下さい。

平和学校に参加して

私は昨年度、平和学校というものに参加しました。平和学校とは、平和に関すること主に戦争、憲法について学ぶものです。戦争の歴史を学ぶためにナナムの家を訪問しました。ナナムの家とは太平洋戦争末期、日本帝国主義によって性的奴隷を強いられた元日本軍「慰安婦」の被害女性たちが集まり生活している場です。〈ナナムの家〉は日本軍「慰安婦」歴史館が、被害女性に対する正しい歴史観を後世に伝える案内役になると考えられています。韓国社会の中では現在、全国で234名が名乗り出ている、106名が生存しています。そのうちナナムの家では7人の被害女性が暮らしています。しかし、私達が訪問させていただいた少し前に2名の方が亡くなられ、証言できる方たちが少なくなっています。被害女性達は、日本軍の「慰安婦」に対する蛮行の真相を歴史に残す運動をしてきました。こういった過去の日本の過ちを知った事で、日本は過去の犯罪を認め、保障、謝罪をしなくてははいけないと思いました。過去の歴史を知り、今後2度と同じ過ちを起ささないようにしなくてははいけません。

(文責 繁田)